

林 芙美子生誕の地
「歴史と文化のまち 小森江西市民センター」
～周辺地区の歴史調査と情報発信～

北九州市 小森江西市民センター【市民センター】館長 佐々木 直子
職員 山谷 幹夫

1. 事業名

周辺地区の歴史調査と情報発信

2. 事業の目的

小森江西地区は、正面に関門海峡、背後に風師山・矢筈山を配する自然に恵まれたところですが、古墳時代には朝鮮からの貢船が行き来したり、江戸時代には久留米藩が船屋敷を設置するなど、歴史の古いまちです。明治33年には下関との間に貨物航送船が開業し、その場所に現在は海底トンネルが通っています。また、まちには明治45年に小森江浄水場が完成し、北九州で初めて上水道での給水を始めるなど、私たちの生活基盤発展に貢献しました。

「花のいのちはみじかくて 苦しきことのみ多かりき」の一節が有名な放浪記の作者である林芙美子の生誕地で、毎年6月には小森江西市民センター（以下、市民センターと略す。）で「林芙美子忌の集い」を開催し、文学への理解を深める取り組みをしています。

このように小森江西地区は歴史と文化のまちです。



関門海峡



林芙美子と生誕地記念文学碑

この事業は、地域住民がこれらの史実をよく知ることにより、まちの誇らしさ、魅力を認識してもらい、まちを今まで以上に好きになって充実した地域社会生活につなげることを目的としています。なお、他地区との連携および他地区での参考になる好事例をベンチマーキングするために、歴史調査は小森江西地区だけでなく周辺地区も対象とすることにしました。

3. 事業の実施主体、連携・協力団体

事業の発案は市民センターですが、住民視点で、より成果が上がるように、その推進は住民によるクラブ活動とし、市民センターと小森江西校区まちづくり自治連合会がサポートする体制としました。

4. 実施に至る経緯

平成27年4月に市民センター主催の生涯学習講座「門司の民話と史跡Ⅰ」、「門司

の民話と史跡Ⅱ」を開催しましたが、とても好評で、もっと地元の歴史について知りたいとの受講生の要望がありましたので、6月に現地を巡るバス研修を2回追加実施し、多くの方に参加していただきました。

参加者にアンケート調査したところ、「知らなかったことが多く、大変勉強になった。」「自分たちが住んでいるまちが、こんなに歴史が古く、すごいところとは思わなかった。」などの意見が多数寄せられました。

地元の持っているこれらの史実は貴重な財産であり、その情報をもっと住民にお伝えすれば、今まで以上にまちに魅力を感じ、まちの活性化につながられるのではないかと考えました。

そこで、「地区の歴史調査とその情報発信」を事業に取り上げることにしました。

5. プログラム作成の要点

事業をうまく進めるために、次の点を考慮しました。

- (1) 事業は住民視点となるように、住民によるクラブ活動とする。
- (2) 事業の狙い・目的を明確にするとともに、成果物をイメージしやすくするため、活動開始前にその一例を製作して提示する。
- (3) 活動が確実に推進されるように、市民センター職員がクラブの一員として参画する。
- (4) PDCAを回すため、事業の結果に対する評価を行い、必要な改善を行う。

6. 事業の内容

(1) 事業を展開するためのクラブの結成

A. クラブの目的

クラブ（小森江西歴史クラブ）は、事業達成に向けて行動するほかに、その過程において会員の脳の活性化、史跡巡りを通じての身体の健康づくりに役立つことを目的とします。

B. 活動内容

事業を推進するために次のような活動を行います。

- ・地区の歴史調査・調査結果資料の作成・情報の共有(勉強会)・活動レポートの作成
- ・地域住民への成果公開
- ・成果に対する評価および改善

(2) クラブの活動実績（平成27年12月～平成28年11月）

13テーマの調査・資料（テキストなど）の作成・情報の共有・レポートの作成を完了。



調査をもとに制作した資料(テキスト)の数々

情報共有のための勉強会(座学&史跡巡り)

7. 事業の成果

- (1) 「活動レポート」の作成と公開
- (2) 「活動時に制作した資料（テキスト）」の公開
- (3) 「小森江西地区見どころスポット情報」の作成と公開
 - ・告知パネルの製作
 - ・情報説明会の開催

※上記内容を平成28年11月の文化祭時に市民センター内で実施



「活動レポート」公開パネル



「小森江西地区見どころスポット」告知パネル

情報説明会

8. 成果の評価と今後の課題

これまで、事業の目的を達成するための調査・情報の共有などのプロセス系の活動に大半の時間を費やし、「活動レポート」「小森江西地区の見どころスポット」を公開できたのは平成28年11月です。まだ、目的である「まちの活性化」へつなげるまでには至っておらず、現在は道半ばです。

目的達成の評価をするにはもう少し時間が必要のため、事業の評価は6月以降に行います。

すでに活動をする中でいくつかの課題が散見されていますが、事業の評価を行う段階で課題を整理し、重みづけをしながら改善につなげたいと考えています。

9. 最後に

この事業の特長・ポイントは次のとおりです。

- (1) 歴史を切り口としたまちの持っている魅力を住民にお知らせして、地域の活性化につなげたいと考えたこと。
- (2) 事業の発案は市民センターですが、実際の推進を住民によるクラブにゆだねたこと。
- (3) 初回の成果物は「小森江西地区の見どころスポット」としましたが、今後ともこれ以外の内容で継続的に情報提供する予定であり、中長期の事業になること。
すぐに成果がでにくい事業ですが、PDCAをしっかりと回しながら粘り強く推進して、目的である「まちの活性化」につながるようにしたいと思います。

問い合わせ先

〒800-0006 北九州市門司区矢筈町 5-42

北九州市立小森江西市民センター

TEL・FAX 093-372-6001 eメール ke-sf@ktqc03.net